

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	アルミ組立ボートを資機材搬送車に積載しようとした際、ボート内部の中板止め金具が外れているのに気づき、直そうとした時に発生した事故。
3. 体験した事例の中心的要素	アルミ組立ボートを積載しようとしたところ、ボート内中央部の 中板止め金具が外れていたため B 隊員がボート内に入り の止め金具を止め の中板の支柱を立てたところ、はずみで の止め金具が外れボート左側面の天端 を持っていた A 隊員の左手指が中板との間に挟まり受傷した。
4. 体験した事例の原因・理由	ボート組立作業手順の確認及び起こりうる危険の予知能力不足、危険意識の欠如

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。
------------------	---------------

.....

1. 発生日時	平成 19 年 5 月 14 日 午後 4 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：消防庁舎車庫裏
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	
7. 事例体験時の活動	その他： []
8. (7 の活動中) どのような作業中に発生したか	その他：翌日の水難救助訓練に備え、アルミ組立ボートを消防車両に積載中の事故
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[50]歳、勤続年数[32]年、現場経験年数[25] 年、 階級[消防司令補]、 同様の活動 [1 年に数度]、 任務 [車長]
○当事者 B	年齢[27]歳、勤続年数[9]年、現場経験年数[9]年、 階級[消防副士長]、 同様の活動 [1 年に数度]、 任務 [隊員]
○当事者 C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、 階級[]、 同様の活動 []、 任務 []
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

1 1 . 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	A 隊員	アルミ組立ボートを積載しようとして、左側面の天端を左手で支えた。	
経過 2	B 隊員	アルミ組立ボードを積載しようとしたところ、中央中板の止め金具が外れているのに気付き、ポート内に入り の止め金具を止め の中板支柱を立てた。	
経過 3	A 隊員	B 隊員が の中板支柱を立てたはずみにより、アルミ組立ポート左側面の天端と中板の間に左手指（人差し指、中指）が挟まれた。	
経過 4			
経過 5			
経過 6			
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

- 事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？
ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった。他隊(員)との連携活動がうまくいかなかった。

- ## ○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c . 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d . 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○ 装備・資機材について

e . 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○ 活動環境について

f . 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g . 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h . 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○ 指揮・管理について

i . 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k . 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○ その他

l . その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○ 注意力欠如、焦り等の対策について

アルミ組立ボートの移動時には中板止め金具が外れやすい為、今後、外れていた場合は、止め金具を操作する隊員が周囲の隊員に作業内容の注意を促し、安全確認後、作業に入る。また、周囲の隊員も作業の注意を聞いた時点で、危険予知を働かせる。

○ 装備・資機材の対策について

○ 活動環境の対策について

○ 指揮・情報伝達の対策について

受傷事故図

